

次世代ネットスーパー立上げ、2030年までに売上6000億円目指す イオン、英・ネットスーパー提携で自社物流強化

Edited By LogisticsToday On 2019/11/29



イオンは29日、英・ネットスーパー「Ocado」（オカド）グループ傘下の「Ocado Solutions」（オカド・ソリューションズ）と、日本国内における独占パートナーシップ契約を締結した、と発表した。

オカドは、2000年に設立されたネットスーパーを運営する企業で、AIとロボットを駆使した最先端の「顧客フルフィルメント・センター」（中央集約型倉庫）と独自の宅配システムにより、英国ネットスーパー業界で最も早い成長スピードを誇る。

また、このノウハウと技術を他社に提供する事業も開始しており、世界中の小売業者に「オカド・スマートプラットフォーム」と呼ばれるオンライン食料品・日用品販売のソリューションを提供している。

イオンは今回の提携を受けて、デジタル、AI、ロボティクス機能の強化を目的に、2020年3月までに新会社を設立。「オカド・スマートプラットフォーム」を利用し、2023年に日本で第1号となる「顧客フルフィルメント・センター」を設立する。これにより、効率的なオペレーションと自社物流を構築すると同時に、利便性の高いアプリを通じて買い物客の「いつでも、どこでも、何でも」というニーズに応える。

同社は今後、これらの技術を既存のネットスーパーの事業、店舗ピックアップ、クリック&コレクトなどにも活用する方針で、2030年までに「次世代ネットスーパー」を立ち上げ、売上6000億円を目指すという。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/359669>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.